

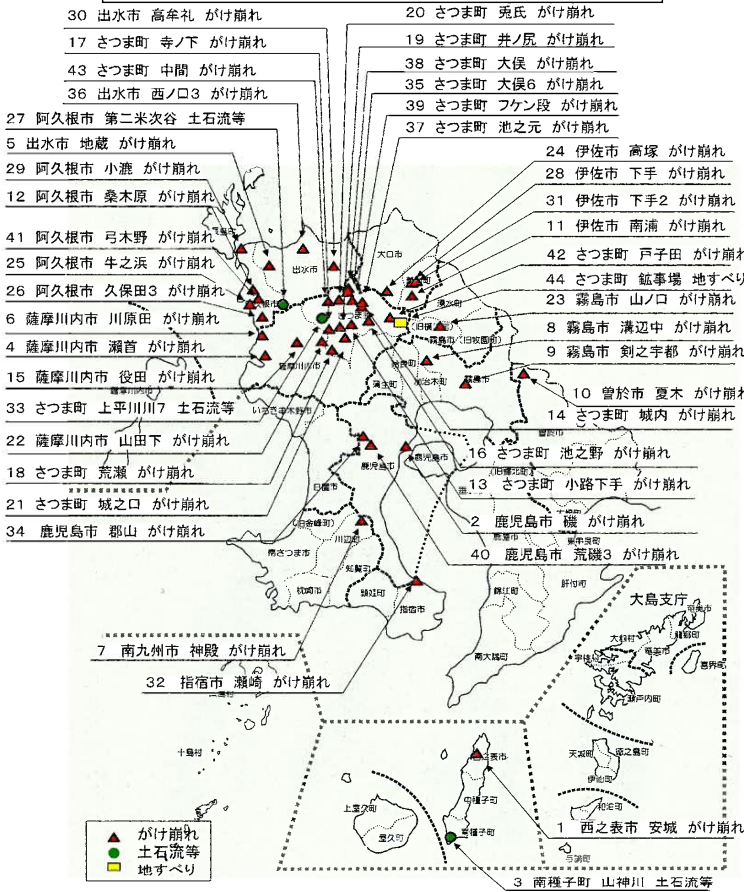


梅雨前線豪雨に伴う土砂災害発生状況

奄美地方は、平年より11日早い4月30日に梅雨入りし、6月22日に梅雨明けしましたが、県本土は、平年より8日早い5月23日の梅雨入り以降、6月14日10時の降り始めから20日11時までの降水量が600mmを超えている所があります。また、6月の月降水量は、22日までにさつま町紫尾山で1,412mm、伊佐市大口で1,279mm、出水で1,002mmに達し、月降水量の極値を更新しました。これに伴い土砂災害が県内各地で44件発生しています。

事前避難等により幸いにも人的被害はありませんでしたが、全壊1戸、半壊3戸、一部損壊8戸の甚大な被害が発生しました。

平成23年の土砂災害発生状況(7月15日8:30現在)



伊佐市南浦地区 がけ崩れ 全壊人家1戸、非住家1戸

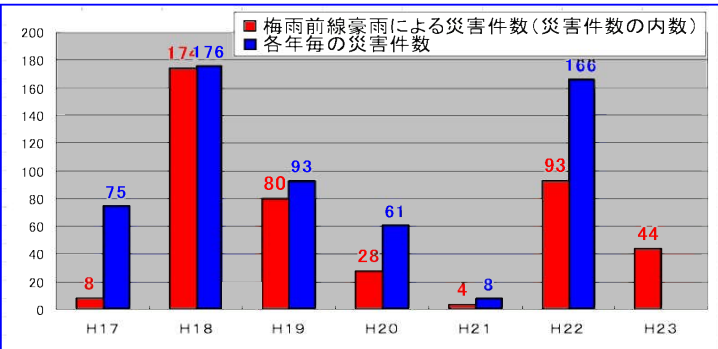


霧島市山ノ口地区 がけ崩れ 半壊人家1戸



さつま町鉢事場地区 地すべり

◎近年の梅雨前線豪雨による土砂災害発生状況



「土砂災害防止の集い2011」を開催しました

土砂災害による被害の防止・軽減を図るため、梅雨期を前に市町村長をはじめ、防災担当者及び一般県民の土砂災害に対する意識高揚をめざした取組のひとつとして、市町村社会基盤整備推進協議会と県の共催で「土砂災害防止の集い」を平成20年度から毎年開催しています。

今年度は、昨年の南大隅町や奄美地方で発生した土砂災害を振り返り、その実態、対応状況、今後の取組等について講演・報告をしていただき、これからの防災を考える集いとして開催したところです。集いには、市町村長、市町村防災担当者、建設技術者等の防災関係者等の約420名の県民が参加しました。

◎日 時 平成23年5月12日(木) 午後1時から午後4時

◎場 所 市町村自治会館

◎プログラム

■ 基調講演 その1

「九州地方における深層崩壊とその予知・予測」

鹿児島大学農学部 下川悦郎 教授

■ 基調講演 その2

「鹿児島県内の活火山について」

京都大学防災研究所 火山活動研究センター 井口正人 准教授

■ 2010年の土砂災害を振り返って

● 2010土砂発生状況及び土砂災害対策の現状

鹿児島県土木部砂防課 伊藤仁志 課長

● 2010土砂災害を経験して

・南大隅町 森田俊彦 町長

・社会福祉法人 恵寧会 特別養護老人ホーム「住用の園」

山田利定 事務部長

・特定非営利法人 ディ！麓 憲吾 理事長(あまみエフエム代表)



本田志布志市長のあいさつ



森田南大隅町長の講演

鹿児島県土砂災害対策アドバイザーによる現地調査

●奄美地方における土砂災害の現地調査(平成23年4月25日実施)

平成22年10月20日の集中豪雨により多発した土砂災害箇所のうち、被害の大きかった9箇所(奄美市、龍郷町、大和村、瀬戸内町において、土石流7箇所、地すべり1箇所、急傾斜1箇所)について、鹿児島県土砂災害対策アドバイザーとともに現地調査を実施しました。調査後に梅雨期を迎えるにあたり警戒避難等について、市町村へ助言しました。



現地調査(山間小川)



現地調査(浦6地区)

○参加した鹿児島県土砂災害対策アドバイザー

鹿児島大学農学部	下川悦郎 教授
鹿児島大学農学部	地頭蘭隆 准教授
鹿児島大学大学院 理工学研究科	井村隆 准教授



記者会見(大島支庁)

●根占山本地区における土石流災害の現地調査(平成23年5月23日実施)

昨年の平成22年7月に深層崩壊に伴う土石流が7回連続して発生した南大隅町根占山本地区について、鹿児島県土砂災害対策アドバイザーとともに現地調査を実施しました。調査後に梅雨期等を迎えるにあたり警戒避難等について、南大隅町へ助言しました。

○参加した鹿児島県土砂災害対策アドバイザー

鹿児島大学農学部	下川悦郎 教授
鹿児島大学農学部	地頭蘭隆 准教授



現地調査(根占山本地区)



森田南大隅町長への調査結果報告

第6回土砂災害・全国統一防災訓練の実施

平成23年6月12日(日)、第6回土砂災害・全国統一防災訓練を実施しました。県(出先機関)、市町村、消防団、地域住民の方々など県内4,742名が参加し、土砂災害を想定した実働避難訓練や県(出先機関)・市町村の防災業務担当者間における情報伝達訓練等を実施しました。

第6回土砂災害・全国統一防災訓練の実施状況(H23.6.12現在)



【志布志市】土砂災害前兆現象のあった箇所の確認



【さつま町】消防団による避難誘導



【奄美市】災害時要援護者の避難誘導



【奄美市】住民による防災マップ作り

市町村名	避難訓練実施(予定)日	避難訓練実施(予定)地区	情報伝達訓練参加人数	避難訓練参加人数		合計
				関係機関	住民	
鹿児島市(避難)	1月12日	未定	-	-	-	0
鹿児島市(情報)	6月12日	-	6	-	-	6
鹿児島市(避難)	7月10日	吾平町下名地区	-	-	-	0
枕崎市(情報)	6月12日	-	6	-	-	6
枕崎市(避難)	9月18日	立神地区	-	-	-	0
指宿市(情報)	6月12日	-	37	-	-	37
西之表市(情報)	6月6日	-	4	-	-	4
西之表市(避難)	未定	未定	-	-	-	0
垂水市(避難)	5月22日	新城地区	-	550	50	600
垂水市(情報)	6月6日	-	4	-	-	4
日置市(避難)	8月28日	未定	-	-	-	0
曾於市(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
霧島市(避難)	5月26日	牧園町	-	1400	-	1400
南さつま市(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
南さつま市(避難)	9月5日	大浦町有木地区	-	-	-	0
志布志市(情報)	6月12日	-	7	-	-	7
奄美市(避難)	5月22日	甲田町委又中央自治会 外28地区	-	687	1658	2345
奄美市(情報)	6月12日	-	5	-	-	5
南九州市(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
南九州市(避難)	9月4日	川辺町永田地区	-	-	-	0
伊佐市(避難)	7月3日	大口、菱刈地区	-	-	-	0
始良市(避難)	6月12日	白浜地区	-	43	37	80
三島村(情報)	6月10日	-	4	-	-	4
さつま町(避難)	5月22日	下手地区	-	46	96	142
さつま町(情報)	6月12日	-	2	-	-	2
大崎町(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
東串良町(情報)	6月12日	-	3	-	-	3
錦江町(情報)	6月12日	-	1	-	-	1
南大隅町(情報)	6月12日	-	3	-	-	3
南大隅町(避難)	未定	未定	-	-	-	0
肝付町(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
中種子町(情報)	6月12日	-	5	-	-	5
南種子町(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
屋久島町(情報)	6月12日	-	6	-	-	6
大和村(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
大和村(避難)	未定	未定	-	-	-	0
宇検村(情報)	6月12日	-	3	-	-	3
瀬戸内町(情報)	6月12日	-	7	-	-	7
龍郷町(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
喜界町(情報)	6月12日	-	5	-	-	5
徳之島町(情報)	6月12日	-	5	-	-	5
天城町(情報)	6月12日	-	5	-	-	5
伊仙町(情報)	6月12日	-	4	-	-	4
和泊町(情報)	6月12日	-	6	-	-	6
知名町(情報)	6月12日	-	6	-	-	6
与論町(情報)	6月12日	-	9	-	-	9
合計			175	2726	1841	4742

土砂災害防止月間・街頭PR活動

平成23年6月1日に鹿児島市の山形屋前アーケード内で土砂災害防止月間の広報活動の一環として、街頭PRを行いました。

この街頭PRには、九州地方整備局大隅河川国道事務所、鹿児島市、鹿児島県町村会及びNPO法人鹿児島砂防ボランティア協会のご協力をいただき、通行中の県民の方々に土砂災害防止啓発チラシの説明及び配布を行いました。

実施日時:平成23年6月1日(水)10:30~11:30
 実施場所:鹿児島市の山形屋前アーケード内
 配布枚数:1,500枚
 参加人数:25人



土砂災害防止に係る作文・絵画の募集

土石流、地すべり、がけ崩れなどの土砂災害の体験やようす、土砂災害の恐ろしさを訴えるもの、砂防施設を見学したときに見たこと、感じたこと、考えたことを題材にした絵画や作文を募集しています。

応募して頂いた方には、応募記念品を用意しております他、絵画、作文の小、中学生部門毎に、最優秀賞1作品、優秀賞数作品を予定しておりますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

作文・絵画・ポスター募集のチラシ

作文・絵画の応募について

応募テーマ

土砂災害の体験や様子、土砂災害の恐ろしさを訴えるもの、砂防施設を見学したときに見たこと、感じたこと、考えたことなど

応募資格

絵画・版画、ポスター、作文ともに小・中学生
※応募者の学校名、学年、氏名を明記してください
※応募作品は未発表のものに限ります

応募内容

土砂災害またはその防止対策に関するもの
・絵画、ポスターの書き方、サイズは自由
・作文は400字詰め原稿用紙5枚以内

応募期間

平成23年6月1日～平成23年9月15日まで

送り先・問い合わせ先

鹿児島県庁砂防課工事事務係
住所：〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1
電話番号：099-286-3614
FAX番号：099-286-5627

平成23年度地区土砂災害防止対策連絡調整会の開催

県では、土砂災害に係る警戒避難体制の整備促進を図るため、県内各地区で年1回以上、地区土砂災害防止対策連絡調整会を開催しています。参加メンバーは、各市町村及び県出先機関の防災、砂防、治山、建築等の業務担当課長等です。

今年度も出水期前に土砂災害の警戒避難に関する認識を各所属間で共有すべく、4月下旬～5月末にかけて、県内10地区で地区土砂災害防止対策連絡調整会を開催しました。土砂災害警戒情報発表時の各機関の対応や土砂災害警戒区域等の指定後の避難体制の整備方法や土砂災害ハザードマップ作成などについて、活発な議論が交わされました。

平成23年度地区土砂災害防止対策連絡調整会の実施状況

開催日	県振興局など	参加市町村
4月25日(月)	熊本支庁	西之表市、中種子町、南種子町、屋久島町
5月9日(月)	大島支庁徳之島事務所	徳之島町、天城町、伊仙町
5月10日(火)	大島支庁沖永良部事務所	和泊町、知名町、与論町
5月17日(火)	大島支庁喜界事務所	喜界町
5月18日(水)	大島支庁(徳之島・沖永良部・喜界事務所を除く)	奄美市、大和村、宇検村、龍郷町、瀬戸内町
5月19日(木)	大隅地域振興局	鹿屋市、垂水市、東串良町、錦江町、南大隅町、肝付町、曾於市、志布志市、大崎町
5月23日(月)	姶良・伊佐地域振興局	霧島市、姶良市、伊佐市、湧水町
5月25日(水)	北薩地域振興局	薩摩川内市、さつま町、阿久根市、出水市、長島町
5月27日(水)	南薩地域振興局	枕崎市、指宿市、南さつま市、南九州市
5月31日(火)	鹿児島地域振興局	鹿児島市、日置市、いちき串木野市、三島村、十島村

“（社）全国治水砂防協会鹿児島県支部懇談会”の開催

平成23年5月12日、（社）全国治水砂防協会鹿児島県支部懇談会が開催されました。

懇談会では、国土交通省河川局砂防部砂防計画課吉村元吾課長補佐による「砂防行政に関する最近の話題」と全国治水砂防協会岡本正男理事長による「砂防を支えた人たち」と題して講演が行われました。その後、県内の21市町村長等との意見交換会が行われました。



◎出席された市町村名（代理出席含む） 21市町村
 鹿児島市、阿久根市、出水市、垂水市、薩摩川内市、日置市、霧島市、志布志市、始良市、長島町、大崎町、錦江町、南大隅町、屋久島町、大和村、宇検村、瀬戸内町、龍郷町、徳之島町、知名町、与論町

土砂災害の恐れのある災害時要援護者関連施設に関する調査結果（平成23年調査）

県（砂防課、保健福祉部、青少年男女共同参画課、学校施設課）は、前回調査（平成22年）後の状況変化を踏まえ、土砂災害の恐れのある災害時要援護者関連施設について、市町村と連携し、当該施設の再調査を実施しました。

再調査結果については、市町村に送付するとともに、今後は、関係課から当該施設管理者へ土砂災害の恐れがある旨を通知し、警戒避難体制の整備促進を図っていきます。

また、県砂防課においては、当該施設を保全する砂防関係事業を積極的に推進するとともに、当該施設に係る地区の土砂災害警戒区域等の指定を先行的に進める予定にしております。この他に、当該施設管理者への土砂災害危険指標の情報提供についても検討していきます。

	所管別	施設数	土砂災害危険箇所・土砂災害警戒区域の中にある施設数	
			土砂災害危険箇所の中にある施設数	土砂災害警戒区域の中にある施設数
災害時要援護者関連施設※1	保健福祉部※2	(4,347) 3,677	(524) 513	(280) 283
	青少年男女共同参画課※3	(936) 935	(135) 137	(55) 55
	学校施設課※4	(100) 98	(26) 25	(11) 11
	合計	(5,383) 4,710	(685) 675	(346) 349

※1: 児童福祉施設、老人福祉施設、身体障害者更生援護施設、知的障害者援護施設、精神障害者社会復帰施設、医療提供施設、幼稚園など

※2: 医療施設、老人ホームなどであるが、うち1箇所は鹿児島市所管の救護施設を含む。

※3: 私立幼稚園、保育所、児童館など

※4: 公立幼稚園、特別支援学校など

注) 上段括弧書きは、平成22年6月公表の調査結果

あまみエフエムが『土砂災害防止功労者国土交通大臣賞』を受賞

国土交通省では、「土砂災害防止月間」の行事の一環として、土砂災害防止に関して顕著な功績があった個人・団体に対して国土交通大臣表彰を行うこととしており、今年度は、奄美市の特定非営利活動法人 ディ！など、1個人、8団体が功労者に決定しました。

6月23日に大島支庁において、昨年10月の集中豪雨による土砂災害発生に際し、土砂災害等の被害状況や避難に関する情報等をラジオにより昼夜を問わず発信するなど、二次災害防止に尽力した特定非営利活動法人 ディ！ 龍理事長に対して表彰伝達式が行われました。



奄美新聞（抜粋）23年6月24日
 （株）奄美新聞社提供



松田典久支庁長による伝達



伝達式後のインタビュー



南海日々新聞（抜粋）23年6月24日
 （株）南海日々新聞社提供



東日本震災被災地への支援

鹿児島県土木部は、東日本大震災に係る災害支援のため、福島県、岩手県、宮城県へ職員を派遣しています。今後も職員派遣を継続する予定にしております。

(1) 福島県への派遣

『平成23年東日本大震災における応急仮設住宅の建設準備の協力について』国土交通省住宅局住宅生産課長(平成23年4月14日付)からの要請により派遣。

派遣期間	派遣場所	派遣職員			業務内容等
		所属	職	氏名	
4/19~5/17	福島県庁	大隅地域振興局(土木建築課)	建築技師	川田原 寛信	応急仮設住宅の配置審査(図面審査)
5/17~6/14	福島県庁	大島支庁建設部(建設課)	建築技師	今村 卓朗	応急仮設住宅の配置審査(図面審査)
6/14~7/11	福島県庁	建築課	技術主査	松澤 崇	応急仮設住宅の配置審査(図面審査)



壮行会状況

(2) 岩手県への派遣

『災害復旧に関する漁港関係職員の派遣について』水産庁漁港漁場整備部整備課長(平成23年4月12日付)からの要請により派遣。

派遣期間	派遣場所	派遣職員			業務内容等
		所属	職	氏名	
5/17~7/31	大船渡	港湾空港課	土木技師	徳重 真	災害復旧の調査、設計、積算等
5/17~7/31	大船渡	漁港漁場課	技術主査	田之上 敬	災害復旧の調査、設計、積算等

(3) 岩手県への派遣

岩手県から当県人事課に直接要請があり派遣。

派遣期間	派遣場所	派遣職員			業務内容等
		所属	職	氏名	
4/10~4/16	滝沢村	監理課	主査	幸福 真	支援物資の仕分け作業
4/16~4/23	滝沢村	道路建設課(高速道対策室)	主査	長井 正彦	支援物資の仕分け作業
4/22~4/29	滝沢村	道路維持課	技術主査	奥地 栄祐	支援物資の仕分け作業
4/28~5/5	滝沢村	河川課	主査	柿木田 豊	支援物資の仕分け作業
5/4~5/11	滝沢村	砂防課	土木技師	倉成 亮	支援物資の仕分け作業
5/10~5/17	滝沢村	港湾空港課	主査	茶園 浩一	支援物資の仕分け作業
5/16~5/23	滝沢村	都市計画課	主査	泉 友樹	支援物資の仕分け作業
5/22~5/29	滝沢村	建築課(住宅政策室)	主査	瀬戸山 克久	支援物資の仕分け作業

(4) 宮城県への派遣

宮城県から当県人事課に直接要請があり派遣。

派遣期間	派遣場所	派遣職員			業務内容等
		所属	職	氏名	
3/27~4/9	県庁及び被災地	監理課(用地対策室)	主査	水流園 光児	2次避難に関する情報収集等
4/8~4/21	県庁及び被災地	監理課	主査	日渡 富雄	2次避難に関する情報収集等

出前講座の開催

各振興局において、管内の小学校を訪問し、砂防読本等を使用して土砂災害発生メカニズム、砂防施設の役割等を小学生に対して周知を図っています。出前講座修了後には、クイズ形式による検定などを行い、一人ひとりに『県土砂災害ジュニアマスター認定書』を交付しております。



清水小学校(南九州市)【H23.6.23】



【編集後記】

九州南部は、5月23日ごろに梅雨入りしました。これは平年より8日早く、昨年より20日早いこととなります。また、6月に入ると梅雨前線の停滞に伴い、県本土を中心に記録的豪雨に見舞われ、さつま町紫尾山、伊佐市大口及び出水の観測所では6月の月降水の極値を更新するなど、土砂災害発生の危険性が高い状況にあります。

これ以上の災害が起きないこと、梅雨入りが早かった分、梅雨明けが早くなることを祈りつつ、災害復旧に取り組んでまいりましょう。(編集長 技術補佐 O・K)

ご意見・ご感想お寄せ下さい

TEL:099-286-3618 FAX:099-286-5627

E-MAIL:sabou@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島県ホームページ: <http://www.pref.kagoshima.jp>

土砂災害警報システムホームページ: <http://www.doboku-bousai.pref.kagoshima.jp>

“みんなで防ごう土砂災害”